

グローバル 高金利通貨ファンド

【愛称:プレミアムエイト】

【運用報告書(全体版)】

第26作成期 (2020年6月23日から2020年12月22日まで)

第 151 期 / 第 152 期 / 第 153 期
決算日2020年7月22日 決算日2020年8月24日 決算日2020年9月23日

第 154 期 / 第 155 期 / 第 156 期
決算日2020年10月22日 決算日2020年11月24日 決算日2020年12月22日

受益者の皆さまへ

平素は格別のお引立てに預かり、厚くお礼申し上げます。

当ファンドは世界各国の現地通貨建て短期ソブリン債券等を主要投資対象として、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指した運用を行います。当作成期についても、運用方針に沿った運用を行いました。

今後ともご愛顧のほどお願い申し上げます。

■当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／債券
信託期間	無期限（設定日：2008年1月7日）
運用方針	世界各国の現地通貨建て短期ソブリン債券等を主要投資対象として、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保を目指した運用を行います。
主要投資対象	世界各国の現地通貨建て短期ソブリン債券等
当ファンドの運用方法	<ul style="list-style-type: none">■世界各国から相対的に高金利の8通貨を選定し、当該通貨建ての債券に分散投資を行います。■OECD加盟国、これに準ずる国（経済規模や債券の発行量・流動性を考慮）およびFTSE世界国債インデックス採用国の中から、取得時において主要格付機関の自国通貨建長期債務格付けがBBB格（投資適格）相当以上の国（通貨）を投資対象とします。■外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジは行いません。■投資対象とする債券は、主として高格付けの短期ソブリン債券とします。
組入制限	<ul style="list-style-type: none">■株式への投資割合は、信託財産の純資産総額の10%以下とします。■外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	<ul style="list-style-type: none">■毎月22日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、分配を行います。■分配対象額の範囲は、経費控除後の、繰越分を含めた利子、配当等収益と売買益（評価損益を含みます。）等の全額とします。■分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。 <p>※委託会社の判断により分配を行わない場合もあるため、将来の分配金の支払いおよびその金額について保証するものではありません。</p>



三井住友DSアセットマネジメント

〒105-6426 東京都港区虎ノ門1-17-1
<https://www.smd-am.co.jp>

■口座残高など、お取引状況についてのお問い合わせ
お取引のある販売会社へお問い合わせください。

■当運用報告書についてのお問い合わせ

コールセンター 0120-88-2976
受付時間：午前9時～午後5時（土、日、祝・休日を除く）

グローバル高金利通貨ファンド【愛称：プレミアムエイト】

■ 最近5作成期の運用実績

作成期	決算期	基準価額			債券組入率	純資産額
		(分配落)	税込 分配金	期中 騰落率		
第22 作成期		円	円	%	%	百万円
	127期(2018年7月23日)	5,448	15	2.2	96.9	1,075
	128期(2018年8月22日)	5,340	15	△1.7	97.3	1,043
	129期(2018年9月25日)	5,469	15	2.7	97.1	1,062
	130期(2018年10月22日)	5,372	15	△1.5	97.3	1,034
	131期(2018年11月22日)	5,418	15	1.1	97.3	1,026
第23 作成期	132期(2018年12月25日)	5,215	15	△3.5	97.0	983
	133期(2019年1月22日)	5,276	15	1.5	97.9	994
	134期(2019年2月22日)	5,317	15	1.1	98.3	993
	135期(2019年3月22日)	5,332	15	0.6	97.9	983
	136期(2019年4月22日)	5,375	15	1.1	97.6	988
	137期(2019年5月22日)	5,208	15	△2.8	97.4	956
第24 作成期	138期(2019年6月24日)	5,132	15	△1.2	98.0	938
	139期(2019年7月22日)	5,184	15	1.3	98.5	942
	140期(2019年8月22日)	4,941	15	△4.4	98.1	895
	141期(2019年9月24日)	4,982	15	1.1	97.8	899
	142期(2019年10月23日)	5,076	15	2.2	97.6	910
	143期(2019年11月22日)	5,055	15	△0.1	97.9	901
第25 作成期	144期(2019年12月23日)	5,156	15	2.3	96.6	902
	145期(2020年1月22日)	5,177	15	0.7	98.2	892
	146期(2020年2月25日)	5,083	15	△1.5	98.0	872
	147期(2020年3月23日)	4,545	15	△10.3	97.3	778
	148期(2020年4月22日)	4,516	15	△0.3	97.1	766
	149期(2020年5月22日)	4,658	15	3.5	85.1	789
第26 作成期	150期(2020年6月22日)	4,712	15	1.5	98.2	794
	151期(2020年7月22日)	4,835	15	2.9	97.7	812
	152期(2020年8月24日)	4,815	15	△0.1	97.5	807
	153期(2020年9月23日)	4,747	15	△1.1	98.0	791
	154期(2020年10月22日)	4,742	15	0.2	97.7	784
	155期(2020年11月24日)	4,832	15	2.2	97.7	797
	156期(2020年12月22日)	4,852	15	0.7	96.0	786

※基準価額の騰落率は分配金込み。

※当ファンドの運用方針に対し適切に比較できる指数がないため、ベンチマークおよび参考指数を記載しておりません。

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移

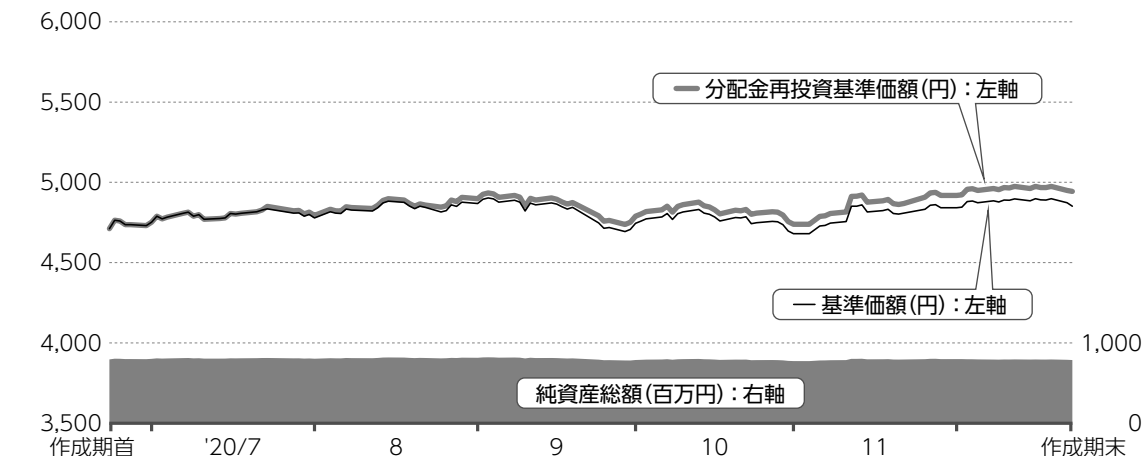
決算期	年 月 日	基 準 価 額		債 券 組 入 比 率
			騰 落 率	
第151期	(期 首) 2020年6月22日	円	%	%
	6月末	4,712	—	98.2
	(期 末) 2020年7月22日	4,752	0.8	98.1
第152期	(期 首) 2020年7月22日	4,850	2.9	97.7
	7月末	4,835	—	97.7
	(期 末) 2020年8月24日	4,779	△1.2	97.5
第153期	(期 首) 2020年8月24日	4,830	△0.1	97.5
	8月末	4,815	—	97.5
	(期 末) 2020年9月23日	4,868	1.1	97.6
第154期	(期 首) 2020年9月23日	4,762	△1.1	98.0
	9月末	4,747	—	98.0
	(期 末) 2020年10月22日	4,745	△0.0	97.9
第155期	(期 首) 2020年10月22日	4,757	0.2	97.7
	10月末	4,742	—	97.7
	(期 末) 2020年11月24日	4,680	△1.3	97.8
第156期	(期 首) 2020年11月24日	4,847	2.2	97.7
	11月末	4,832	—	97.7
	(期 末) 2020年12月22日	4,842	0.2	97.8
		4,867	0.7	96.0

※期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。

1 運用経過

基準価額等の推移について(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

基準価額等の推移



※分配金再投資基準価額は、作成期首の値が基準価額と同一となるように指数化しています。

作成期首	4,712円
作成期末	4,942円 (当作成期分配金90円(税引前)込み)
騰落率	+4.9% (分配金再投資ベース)

分配金再投資基準価額について

分配金再投資基準価額は分配金(税引前)を分配時に再投資したと仮定して計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示します。

※分配金を再投資するかどうかについては、受益者の皆さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額などによって課税条件も異なります。したがって、受益者の皆さまの損益の状況を示すものではありません。(以下、同じ)

基準価額の主な変動要因(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

当ファンドは、OECD(経済協力開発機構)加盟国およびこれに準ずる国ならびにFTSE世界国債インデックス採用国の中から、取得時において主要格付機関の自国通貨建長期債務格付けがBBB格(投資適格)相当以上の国の現地通貨建て短期ソブリン債券(政府や政府機関、国際機関などが発行する債券)等を主要投資対象とし、相対的に金利の高い国に投資しました。外貨建資産については対円での為替ヘッジを行っていません。

上昇要因

- 世界的な金融緩和環境のもと、投資国の短期金利が総じて低下(債券価格は上昇)したこと
- リスク・オン(リスク選好)の動きが強まる中、米ドル以外の投資通貨が対円で上昇したこと

投資環境について(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

投資国の短期債券市場は金利が総じて低下しました。為替市場では、米ドル以外の投資通貨が対円で上昇しました。

債券市場

先進国債券市場の短期金利は、各国中央銀行の強力な金融緩和を背景に、作成期を通じて低位での推移が続きました。

新興国債券市場についても、メキシコの中央銀行が利下げを継続するなど金融緩和姿勢を継続したことで、短期金利は低下しました。

当作成期の市場の動きを米国2年国債利回りで見ると、作成期首0.19%から作成期末0.12%へと低下しました。カナダ、オーストラリアなど他の先進国でも短期金利が低下しました。

メキシコ2年国債利回りは作成期首4.78%から作成期末4.36%へと低下しました。

ポーランドも低下しました。

為替市場

為替市場では、米ドル以外の通貨は、各国の金融緩和策や財政出動などが支えとなり、対円で上昇基調をたどりました。一方、米ドル・円については、米国の金融緩和政策が長期化するとの見通しのもと、リスク選好の動きを背景に米ドル売りが継続するなか、米ドルは下落基調をたどりました。

当作成期の米ドル・円は、作成期首106円77銭から作成期末103円34銭と3円43銭の米ドル安・円高となりました。メキシコペソは作成期首4円72銭から作成期末5円16銭と0円44銭のメキシコペソ高・円安となりました。

ポートフォリオについて(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

●組入国(通貨)別配分

組入国(通貨)への均等分散投資を維持しました。組入国(通貨)については、作成期初はノルウェー、ニュージーランド、カナダ、ポーランド、シンガポール、アメリカ、オーストラリア、メキシコの8カ国(通貨)の組入れでスタートしました。当作成期中は、金利水準・市場動向や流動性等を勘案し、作成期末までこれらの組入国(通貨)を維持しました。

●種別配分

債券種別は、国債を中心に組み入れましたが、格付けの制限からメキシコでは、国際機関債を組み入れました。

●格付け別配分

組入債券の格付けは取得時における主要格付機関の信用格付けがA格相当以上とし、ポートフォリオ全体の平均格付けについてもA A格相当以上としました。

●残存期間別配分

組入債券の年限は、概ね3年以内に償還を迎える短期債券への投資を継続しました。

ベンチマークとの差異について(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

ベンチマークおよび参考指数を設けていませんので、この項目に記載する事項はありません。

分配金について(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

当作成期の1万口当たりの分配金(税引前)は、基準価額水準等を勘案し、それぞれ15円といたしました。

なお、留保益につきましては、運用の基本方針に基づき運用いたします。

グローバル高金利通貨ファンド【愛称：プレミアムエイト】

(単位：円、1万口当たり、税引前)

項目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
当期分配金	15	15	15	15	15	15
(対基準価額比率)	(0.309%)	(0.311%)	(0.315%)	(0.315%)	(0.309%)	(0.308%)
当期の収益	13	10	12	7	12	10
当期の収益以外	1	4	2	7	2	4
翌期繰越分配対象額	632	627	625	618	615	610

※単位未満を切り捨てているため、「当期の収益」と「当期の収益以外」の合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。
※「対基準価額比率」は、「当期分配金」(税引前)の期末基準価額(分配金(税引前)込み)に対する比率で、当ファンドの収益率とは異なります。

2 今後の運用方針

新型コロナウイルスについては、ワクチン開発の進展という明るい材料が出てきていますが、ワクチン接種が感染収束に結び付くかどうかは不確実性が高く、しばらくは主要国の中央銀行が現状の強力な金融緩和政策を継続せざるを得ない状況が続くとみられます。こうした見通しのもと、グローバルに短期金利は低位での推移を予想します。

為替相場は、リスク回避やポジション調整等を背景とした円買いの動きが、一時的に強まる可能性があります。ただし、日銀の金融緩和政策が長期にわたって維持される見通しであることや、日本からの根強い対外証券投資による資金フローなどが中期的に円安要因として働き、相対的に金利水準の高い通貨は円に対して底堅く推移していくものと見込んでいます。

新興国については、主要先進国の金融緩和政策の維持が見込まれるなか、中長期的に、高利回り資産への投資需要が引き続き根強いことが、債券や通貨の下支え要因になると予想します。

以上の見通しを背景に、今後の運用方針は引き続き相対的に高金利の8通貨を選定し、当該通貨建ての債券に分散投資を行い、安定した収益の確保を目指して機動的なファンド運営を行います。

3 お知らせ

約款変更について

該当事項はございません。

■ 1万口当たりの費用明細(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

項目	金額	比率	項目の概要
(a) 信託報酬	25円	0.524%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率×(経過日数/年日数)
(投信会社)	(12)	(0.248)	投信会社：ファンド運用の指図等の対価
(販売会社)	(12)	(0.248)	販売会社：交付運用報告書等各種資料の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
(受託会社)	(1)	(0.028)	受託会社：ファンド財産の保管および管理、投信会社からの指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.043	その他費用＝期中のその他費用/期中の平均受益権口数
(保管費用)	(2)	(0.041)	保管費用：海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送付金・資産の移転等に要する費用
(監査費用)	(0)	(0.002)	監査費用：監査法人に支払うファンドの監査費用
(その他)	(0)	(0.000)	その他：信託事務の処理等に要するその他費用
合計	27	0.567	

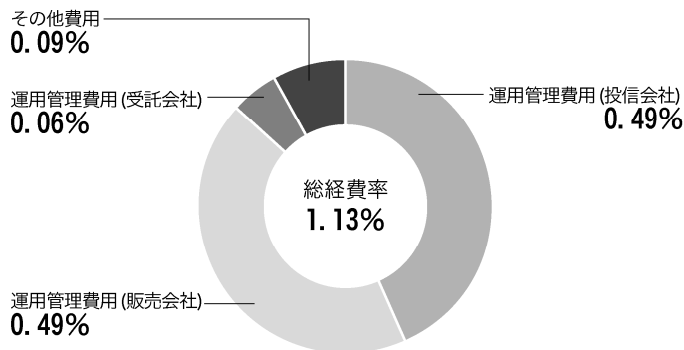
期中の平均基準価額は4,777円です。

※期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出しています。

※比率欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

※各項目毎に円未満は四捨五入しています。

参考情報 総経費率 (年率換算)



※各費用は、前掲「1万口当たりの費用明細」において用いた簡便法により算出したもので、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

※各比率は、年率換算した値(小数点以下第2位未満を四捨五入)です。

※上記の前提条件で算出しているため、「1万口当たりの費用明細」の各比率とは、値が異なる場合があります。なお、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額(原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。)を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額(1口当たり)を乗じた数で除した総経費率(年率換算)は1.13%です。

グローバル高金利通貨ファンド【愛称：プレミアムエイト】

■ 当作成期中の売買及び取引の状況 (2020年6月23日から2020年12月22日まで)

公社債

			当 作 成 期								
			買 付 額	売 付 額							
外	ア	メ	リ	カ	国 債 証 券	千米ドル 59	千米ドル -				
	カ	ナ	ダ	国 債 証 券	千カナダドル -	千カナダドル 91					
	メ	キ	シ	コ	国 債 証 券	千メキシコペソ -	千メキシコペソ 20,620				
					特 殊 債 券	17,556	-				
	ノ	ル	ウ	ェ	ー	国 債 証 券	千ノルウェークローネ -	千ノルウェークローネ 1,023			
	ポ	ー	ラ	ン	ド	国 債 証 券	千ポーランドズロチ 3,496	千ポーランドズロチ 3,669			
	オ	ー	ス	ト	ラ	リ	ア	国 債 証 券	千オーストラリアドル -	千オーストラリアドル 72	
国	ニ	ュ	ー	ジ	ー	ラ	ン	ド	国 債 証 券	千ニュージーランドドル -	千ニュージーランドドル 145
	シ	ン	ガ	ポ	ー	ル	国 債 証 券	千シンガポールドル -	千シンガポールドル 50		

※金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

■ 利害関係人との取引状況等 (2020年6月23日から2020年12月22日まで)

当作成期中における利害関係人との取引等はありません。

※利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況

(2020年6月23日から2020年12月22日まで)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

■ 組入れ資産の明細 (2020年12月22日現在)

公社債

A 債券種類別開示

外国(外貨建)公社債

区 分	額 面 金 額	作 成 期 末			残存期間別組入比率					
		評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	5年以上	2年以上	2年未満		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額							
ア	メ	リ	カ	千米ドル 900	千円 94,046	% 12.0	% -	% -	% 0.8	% 11.2

グローバル高金利通貨ファンド【愛称：プレミアムエイト】

区 分	作 成 期 末							
	額 面 金 額	評 価 額		組入比率	うち88倍以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
カ ナ ダ	千カナダドル 1,150	千カナダドル 1,165	93,655	11.9	—	—	—	11.9
メ キ シ コ	千メキシコペソ 16,700	千メキシコペソ 17,561	90,618	11.5	—	—	11.5	—
ノ ル ウ ェ ー	千ノルウェークローネ 7,770	千ノルウェークローネ 7,888	94,348	12.0	—	—	—	12.0
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 3,420	千ポーランドズロチ 3,418	96,103	12.2	—	—	—	12.2
オーストラリア	千オーストラリアドル 1,180	千オーストラリアドル 1,228	96,126	12.2	—	—	—	12.2
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 1,270	千ニュージーランドドル 1,298	95,052	12.1	—	—	—	12.1
シンガポール	千シンガポールドル 1,220	千シンガポールドル 1,228	95,192	12.1	—	—	—	12.1
合 計	—	—	755,144	96.0	—	—	12.3	83.7

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※－印は組入れなし。

B 個別銘柄開示 外国(外貨建)公社債

種 類		銘 柄	作 成 期 末				
			利 率	額面金額	評 価 額		償還年月日
					外貨建金額	邦貨換算金額	
(アメリカ)	国債証券	US TREASURY N/B 0.125	%	千米ドル 60	千米ドル 59	千円 6,196	2023/5/15
		US TREASURY N/B 3.125	0.125 3.125	840	850	87,849	2021/5/15
小 計			—	—	—	94,046	—
(カナダ)	国債証券	CANADA-GOV'T 1	1.0	千カナダドル 1,150	千カナダドル 1,165	93,655	2022/9/1
(メキシコ)	特殊債券 (除金融債)	INT BK RECON&DEV 7	7.0	千メキシコペソ 16,700	千メキシコペソ 17,561	90,618	2023/1/24
(ノルウェー)	国債証券	NORWEGIAN GOV'T 3.75	3.75	千ノルウェークローネ 7,770	千ノルウェークローネ 7,888	94,348	2021/5/25
(ポーランド)	国債証券	POLAND GOVT BOND	—	千ポーランドズロチ 3,420	千ポーランドズロチ 3,418	96,103	2022/7/25
(オーストラリア)	国債証券	AUSTRALIAN GOVT. 2.25	2.25	千オーストラリアドル 1,180	千オーストラリアドル 1,228	96,126	2022/11/21
(ニュージーランド)	国債証券	NEW ZEALAND GVT 6	6.0	千ニュージーランドドル 1,270	千ニュージーランドドル 1,298	95,052	2021/5/15
(シンガポール)	国債証券	SINGAPORE GOV'T 1.25	1.25	千シンガポールドル 1,220	千シンガポールドル 1,228	95,192	2021/10/1
合 計			—	—	—	755,144	—

※邦貨換算金額は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

グローバル高金利通貨ファンド【愛称：プレミアムエイト】

■ 投資信託財産の構成

(2020年12月22日現在)

項 目	作 成 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	755,144	95.6
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	34,497	4.4
投 資 信 託 財 産 総 額	789,641	100.0

※単位未満は切捨て。ただし、単位未満の場合は小数で記載。

※作成期末における外貨建資産(773,907千円)の投資信託財産総額(789,641千円)に対する比率は98.0%です。

※外貨建資産は、作成期末の時価を日本の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは、1米ドル=103.34円、1カナダドル=80.35円、1メキシコペソ=5.16円、1ノルウェークローネ=11.96円、1ポーランドズロチ=28.11円、1オーストラリアドル=78.24円、1ニュージーランドドル=73.19円、1シンガポールドル=77.50円です。

■ 資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2020年7月22日) (2020年8月24日) (2020年9月23日) (2020年10月22日) (2020年11月24日) (2020年12月22日)

項 目	第151期末	第152期末	第153期末	第154期末	第155期末	第156期末
(A) 資 産	818,434,600円	810,903,037円	794,627,594円	788,973,419円	800,750,108円	792,908,747円
コール・ローン等	14,828,410	13,874,898	11,439,463	13,292,181	14,410,773	19,189,617
公社債(評価額)	794,014,498	787,121,436	775,641,610	766,990,404	779,529,113	755,144,980
未収入金	1,907,880	-	-	-	-	8,999,725
未収利息	6,921,568	9,104,217	7,089,085	8,168,999	6,224,311	3,654,104
前払費用	587,560	566,355	153,405	155,612	161,330	5,429,617
その他未収収益	174,684	236,131	304,031	366,223	424,581	490,704
(B) 負 債	6,062,856	3,285,371	3,202,254	4,024,819	3,223,348	6,342,084
未払金	1,912,000	-	-	-	-	3,267,702
未払収益分配金	2,520,246	2,515,731	2,501,052	2,483,223	2,476,002	2,431,525
未払解約金	936,114	-	-	881,787	3	2,488
未払信託報酬	691,569	766,390	698,099	657,012	744,185	637,647
未払利息	8	22	14	19	27	41
その他未払費用	2,919	3,228	3,089	2,778	3,131	2,681
(C) 純資産総額(A-B)	812,371,744	807,617,666	791,425,340	784,948,600	797,526,760	786,566,663
元 本	1,680,164,534	1,677,154,045	1,667,368,430	1,655,482,505	1,650,668,027	1,621,016,786
次期繰越損益金	△ 867,792,790	△ 869,536,379	△ 875,943,090	△ 870,533,905	△ 853,141,267	△ 834,450,123
(D) 受益権総口数	1,680,164,534口	1,677,154,045口	1,667,368,430口	1,655,482,505口	1,650,668,027口	1,621,016,786口
1万口当たり基準価額(C/D)	4,835円	4,815円	4,747円	4,742円	4,832円	4,852円

※当作成期における作成期首元本額1,686,083,214円、作成期中追加設定元本額4,035,942円、作成期中一部解約元本額69,102,370円です。

※上記表中の次期繰越損益金がマイナス表示の場合は、当該金額が投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第10号に規定する額(元本の欠損)となります。

※上記表中の受益権総口数および1万口当たり基準価額が、投資信託財産の計算に関する規則第55条の6第7号および第11号に規定する受益権の総数および計算口数当たりの純資産の額となります。

グローバル高金利通貨ファンド【愛称：プレミアムエイト】

■ 損益の状況

(自2020年6月23日 至2020年7月22日) (自2020年7月23日 至2020年8月24日) (自2020年8月25日 至2020年9月23日) (自2020年9月24日 至2020年10月22日) (自2020年10月23日 至2020年11月24日) (自2020年11月25日 至2020年12月22日)

項 目	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(A) 配 当 等 取 益	2,300,146円	2,523,587円	2,961,144円	1,829,960円	2,069,493円	1,821,595円
受 取 利 息	2,242,446	2,464,989	2,898,955	1,771,190	2,013,434	1,765,215
そ の 他 取 益 金	57,903	59,055	62,403	59,036	56,296	56,885
支 払 利 息	△ 203	△ 457	△ 214	△ 266	△ 237	△ 505
(B) 有 価 証 券 売 買 損 益	21,693,502	△ 2,536,389	△ 11,139,993	516,217	16,014,602	4,689,641
売 買 益	22,983,172	3,704,066	902,402	4,344,118	17,770,121	8,460,757
売 買 損	△ 1,289,670	△ 6,240,455	△ 12,042,395	△ 3,827,901	△ 1,755,519	△ 3,771,116
(C) 信 託 報 酬 等	△ 808,796	△ 769,689	△ 800,125	△ 698,087	△ 747,337	△ 713,852
(D) 当 期 繰 越 損 益 金 (A+B+C)	23,184,852	△ 782,491	△ 8,978,974	1,648,090	17,336,758	5,797,384
(E) 前 期 繰 越 損 益 金	△502,458,115	△480,737,349	△481,045,900	△488,820,018	△488,055,695	△464,501,609
(F) 追 加 信 託 差 損 益 金	△385,999,281	△385,500,808	△383,417,164	△380,878,754	△379,946,328	△373,314,373
(配当等相当額)	(4,202,138)	(4,235,545)	(4,245,452)	(4,254,903)	(4,277,748)	(4,240,723)
(売買損益相当額)	(△390,201,419)	(△389,736,353)	(△387,662,616)	(△385,133,657)	(△384,224,076)	(△377,555,096)
(G) 計 (D + E + F)	△865,272,544	△867,020,648	△873,442,038	△868,050,682	△850,665,265	△832,018,598
(H) 取 益 分 配 金	△ 2,520,246	△ 2,515,731	△ 2,501,052	△ 2,483,223	△ 2,476,002	△ 2,431,525
次 期 繰 越 損 益 金 (G+H)	△867,792,790	△869,536,379	△875,943,090	△870,533,905	△853,141,267	△834,450,123
追 加 信 託 差 損 益 金	△385,999,281	△385,500,808	△383,417,164	△380,878,754	△379,946,328	△373,314,373
(配当等相当額)	(4,202,138)	(4,235,545)	(4,245,452)	(4,254,903)	(4,277,748)	(4,240,723)
(売買損益相当額)	(△390,201,419)	(△389,736,353)	(△387,662,616)	(△385,133,657)	(△384,224,076)	(△377,555,096)
分 配 準 備 積 立 金	102,035,653	101,050,143	100,085,968	98,135,123	97,322,563	94,724,931
繰 越 損 益 金	△583,299,162	△585,085,714	△592,611,894	△587,790,274	△570,517,502	△555,860,681

※有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

※信託報酬等には、信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

※追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

※分配金の計算過程は以下の通りです。

	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
(a) 費用控除後の配当等収益	2,222,582円	1,753,898円	2,161,019円	1,285,452円	1,983,998円	1,621,859円
(b) 費用控除後・繰越欠損金補填後の 有価証券売買等損益	—	—	—	—	—	—
(c) 収益調整金	4,202,138	4,235,545	4,245,452	4,254,903	4,277,748	4,240,723
(d) 分配準備積立金	102,333,317	101,811,976	100,426,001	99,332,894	97,814,567	95,534,597
(e) 分配可能額(a+b+c+d)	108,758,037	107,801,419	106,832,472	104,873,249	104,076,313	101,397,179
1万口当たり分配可能額	647	642	640	633	630	625
(f) 分配金額	2,520,246	2,515,731	2,501,052	2,483,223	2,476,002	2,431,525
1万口当たり分配金額(税引前)	15	15	15	15	15	15

■ 分配金のお知らせ

1万口当たり分配金(税引前)	第151期	第152期	第153期	第154期	第155期	第156期
	15円	15円	15円	15円	15円	15円

※分配金は、分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は全額「普通分配金」となり課税されます。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合は下回る部分が「元本払戻金(特別分配金)」となり非課税、残りの部分が「普通分配金」となります。

上記のほか、投資信託財産の計算に関する規則第58条第1項各号に該当する事項はありません。